

# THLCシリーズ/MRLP144/NCA10

SMAアンテナ接栓付ケーブル/形状記憶合金アドオンラジアルセット/M型基台取付アダプタ



**取扱説明書** この取扱説明書はTHLCシリーズ/MRLP144/NCA10共通の説明書となっています。

この度は、ナテック製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。ご使用前に本取扱説明書をお読みの上、正しくご使用下さい。お読みになった後は保管して下さいようお願い致します。

## 安全上のご注意

**⚠ 警告** 下記事項は、無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

- 設置・点検作業は、しっかりと足場を確保した上で行って下さい。
- 設置・点検作業は、落下防止のネットを張る等安全対策をしてから行って下さい。
- 設置・点検作業は、雨天・強風・雷時等天候の悪い日は行わないで下さい。
- 雷が鳴り始めたら設置したアンテナ・ケーブルには触らないで下さい。
- 電線、煙突の近く等高温になる場所からできるだけ離して設置して下さい。
- 十分な強度がある場所・安定した場所に設置して下さい。
- 腐食しにくい部材に設置して下さい。
- 部品等の落下により、人や物等に危害・損害を与えたりしない場所に設置して下さい。

**⚠ 注意** 下記事項は、無視して誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

- 落下させる、無理に折り曲げる、引っ張ったりするなど強い衝撃は与えないで下さい。
- 場所によって取り付け規制がある場合もございます。確認の上設置して下さい。
- 分解・改造しないで下さい。
- 設置したアンテナ・ケーブル・金具・金具・マスト・ビス・ボルト等に異常・緩み等がないか定期的に点検して下さい。
- 異常があったら、すぐに電波の発射を中止して下さい。

△ 電波を利用する機器ですので、不確実性が必ず伴います。ご理解の上ご使用頂くようお願い致します。

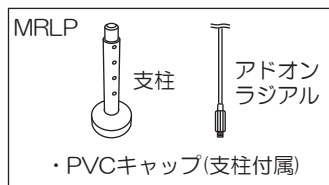
△ 万が一、故障・動作不良・誤動作等が原因で人命・財産等に損害があっても、当社はその責任を負うものではありません。

△ 本品を何らかのシステムや電子機器等に組み込んだり、本来の用途以外でのご使用の場合、いかなる不具合・損害が生じても当社はその責任を負うものではありません。

## 構成



| 型名     | THLC50S  | THLC202S  | THLC352S | THLC502S | THLC202M                    | THLC352M | THLC502M |
|--------|--|-----------|----------|----------|-----------------------------|----------|----------|
| 周波数    | DC~1.3GHz  |           |          |          |                             |          |          |
| 接栓     | SMA-P(機器取付側) - SMA-J(アンテナ取付側)  |           |          |          | M-P(機器取付側) - SMA-J(アンテナ取付側) |          |          |
| 同軸ケーブル | RG58A/U  | 2.5DS-QFB |          |          |                             |          |          |
| ケーブル長  | 5m   | 2m        | 3.5m     | 5m       | 2m                          | 3.5m     | 5m       |
| 基台径    | φ20  |           |          |          |                             |          |          |
| 対応金具   | 弊社アンテナ取付金具NBシリーズ・NBTシリーズ等φ6.5の穴が空いている取付金具/一般的なM6ネジ用取付穴が空いている取付金具<br>板厚：2~3mm |           |          |          |                             |          |          |

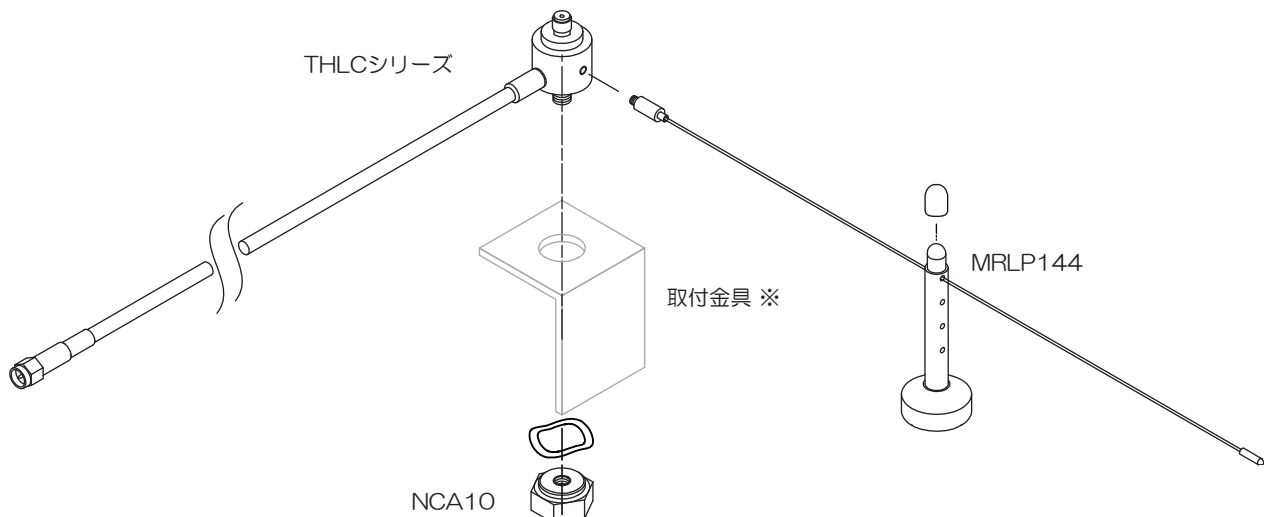


| 型名            | MRLP144          |
|---------------|------------------|
| 周波数(アドオンラジアル) | 142.93~146.99MHz |
| 全長(アドオンラジアル)  | 約510mm(ネジ部除く)    |
| 外形寸法(支柱)      | 約φ24×70mm        |
| 重量(支柱)        | 約17g             |



| 型名   | NCA10        |
|------|--------------|
| 対応板厚 | 2~3mm        |
| 外形寸法 | 約(対辺)19×11mm |
| 重量   | 約25g         |

## 構成図



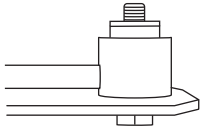
※ NCA10は板厚：2~3mmのアンテナ取付金具に対応しております。

φ16用(一般的なM型コネクタ用)の取付穴が空いているアンテナ取付金具に取付可能です。

弊社アンテナ取付金具NBシリーズ・NBTシリーズ等φ6.5の穴が空いている取付金具や、一般的なM6ネジ用取付穴にはNCA10を使わずに取付可能です。

## 取付方法[THLCシリーズ/NCA10]

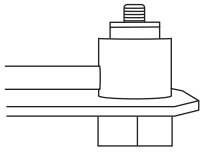
NCA10使用無[弊社アンテナ取付金具NBシリーズ・NBTシリーズ等φ6.5の穴が空いている取付金具や、一般的なM6ネジ用取付穴]



THLCシリーズ取付ネジをφ6.5 SMA用取付穴・M6ネジ用取付穴に入れ、ウェーブワッシャーを挟みナットで固定する

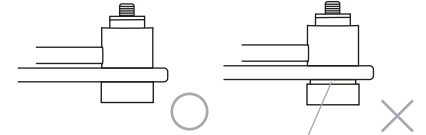
NCA10使用有[φ16用(一般的なM型コネクタ用)の取付穴]

THLCシリーズ取付ネジをφ16用取付穴に入れ、(NCA10付属)ウェーブワッシャーを挟みNCA10で固定する



ウェーブワッシャーを段差部に嵌め、締め込んでいく

THLCシリーズの取付ネジに締め込みながら、段差部(左図灰色部分)を取付穴に入り込ませる

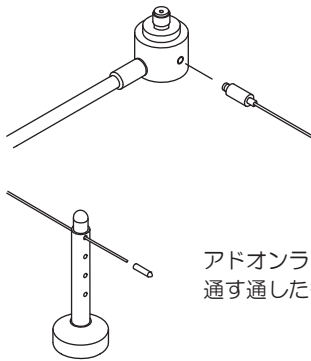


段差部を取付穴に入り込ませる

- 注意
  - ナットを締める際、同軸ケーブル根本(アンテナ取付側)を持たないで下さい。
- THLCシリーズ スパースーについて
  - アンテナ取付側コネクタ部に1枚入っていますが、防水の為必要なので外さないで下さい。
  - 接続するアンテナによりアンテナ取付側コネクタ部にスペースができてしまう場合がございます。その際は、予備用スパースーを追加してアンテナと接続して下さい。※1枚入れても隙間がある場合は、2枚入れてご使用下さい。
- NCA10 取付について
  - THLCシリーズ取付ネジに締め込む際、付属ウェーブワッシャーが段差部から外れやすくなっております。ウェーブワッシャーを押し付けながら締め込んで下さい。
  - 段差部が取付穴に入り込ませるようにしっかりと締め付けて下さい。

## 取付方法[THLCシリーズ/MRLP144]

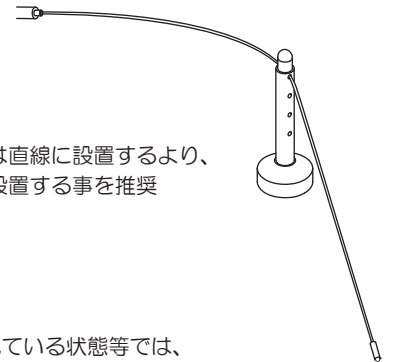
THLCシリーズをアンテナ取付金具に設置後、MRLP144のアドオンラジアルをTHLCシリーズに空いているアドオンラジアル取付穴に取り付ける



アドオンラジアルのキャップを外し、支柱の穴に通す通した後はキャップを再度嵌める

MRLP144の設置に最適な穴に取り付ける(アドオンラジアル取付穴は3箇所空いている)

アドオンラジアルは直線に設置するより、若干曲げた状態で設置する事を推奨(緩み難くする為)



- 注意
  - 本品は接続することによりインピーダンスを下げる効果があります。その為、高周波のアースが充分取れている状態等では、ラジアル効果が得られない場合がございます。
  - 一般的な車の屋根で高速走行時も脱落しない強度にはなっていますが、薄い鉄板の上は磁力が弱くなりますのでご注意ください。
  - 支柱・アドオンラジアルは走行の邪魔にならない場所に設置して下さい。
  - 洗車時はアンテナ/アドオンラジアル/支柱を取り外し、THLCシリーズ本体に付属していたPVCキャップをSMAJコネクタに取り付けて防水して下さい。  
※ MRLP144支柱上部付属のキャップも同様にご使用頂けます。
- MRLP144 支柱設置について
  - 支柱下部はマグネットにより金属(鉄)部分に貼り付ける事が可能です。※強力なマグネットですので取り扱いにご注意下さい。
  - 支柱の取付穴は4箇所設けてありますので、最適な位置に通して下さい。
- MRLP144 アドオンラジアル設置について
  - アドオンラジアル設置環境※により、V.SWRに多少影響があります。  
※ 這わせる方向・曲げ方・車体との距離(高さ)等によりV.SWRに多少影響が生じます。  
[這わせる方向・曲げ方] 走行の邪魔にならない場所で、最適な位置に設置して下さい。薄い鉄板の上は磁力が弱くなりますのでご注意ください。  
[車体との距離(高さ)] 支柱取付穴を4箇所設けてありますので、最適な位置に通して下さい。測定器等ない場合は、支柱取付穴一番上の穴に通すことを推奨致します。
  - アドオンラジアルのキャップは支柱に通した後は確実に嵌め直して下さい。
  - アドオンラジアルは緩み防止のため、若干曲げた状態で設置すると緩み難くなります。
  - アドオンラジアルは車体に接触しないよう設置して下さい。

※製品向上の為、外観・仕様は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。  
※万一初期不良・破損等がございましたら、弊社までご連絡お願い致します。  
※本書に掲載されている全ての情報に関する著作権は、株式会社ナテックに帰属します。  
※本書の情報を弊社に無断で複製、転用、改変、送信、転載等することは禁止されています。

Ver.1.0